

一般国道201号 みやこ行橋バイパスに係る新規事業採択時評価

1. 事業概要



図1 広域図

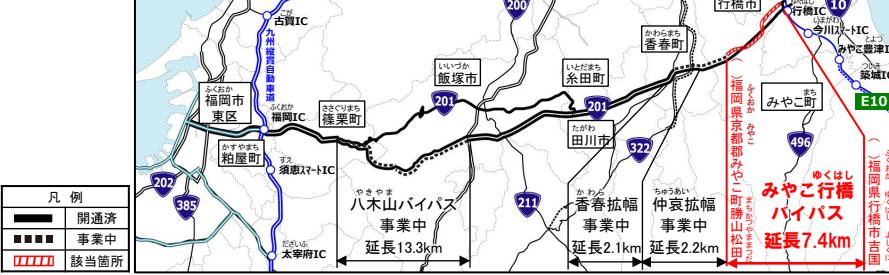


図2 事業位置図

・起終点: 福岡県京都郡みやこ町勝山松田
～福岡県行橋市吉国

・延長等: 7.4km
(第3種第1級、4車線、設計速度80km/h)

・全体事業費: 約610億円 ～計画交通量: 約17,000～28,300台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約11,100～18,300台/日	約1,800台～3,400/日	約4,100台～6,600/日

①路線概要

・国道201号は福岡県福岡市東区から福岡県行橋市吉国に至る延長91キロの主要幹線道路。このうち、みやこ行橋バイパスは、福岡県京都郡みやこ町勝山松田から福岡県行橋市吉国に至る延長7.4キロのバイパス事業。

②事業目的

・当該区間の整備により、隣接区間と一体となったバイパス機能の確保による交通渋滞の緩和および交通事故の減少が期待されるなど、円滑で安全な道路ネットワークを構築

・産業拠点や港湾、救急医療施設等へのアクセス向上により、地域の産業活動の活性化や救急医療活動を支援

③事業実施に向けた検討状況

・みやこ行橋バイパスは上位計画として第3次みやこ町総合計画(R3.6月)、九州地方新広域道路交通計画(R3.7月)に位置づけ

・地域課題等をふまえ、計画段階評価(R1.9月～R3.6月)において以下の政策目標を設定し、ルート構造を検討

①定時性・速達性の確保による生活利便性の向上

②安全性の確保による生活環境の向上

③速達性・定時性確保による産業の支援

④医療施設への速達性・走行性の向上

2. 評価結果

費用便益分析

■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	(参考)*4	EIRR*1	総費用	総便益
4%	1.5	1.5		691億円*2
[2%]*3	2.2	2.3	6.2%	470億円*2
[1%]*3	2.8	2.9		(参考)走行時間信頼性向上便益: 29億円 CO2排出削減便益: 0.53億円

*1: EIRR: 経済的内部収益率

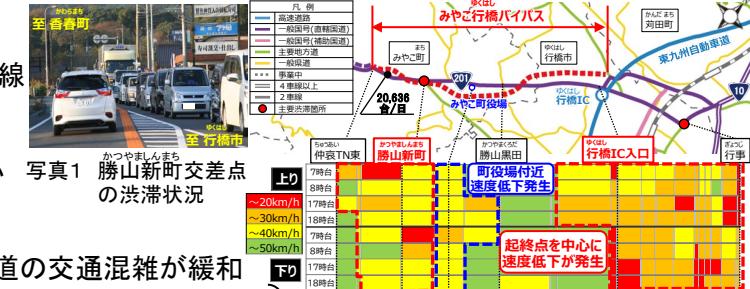
*2: 基準年(令和6年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

*3: 比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率

*4: 参考として多様な便益を算出

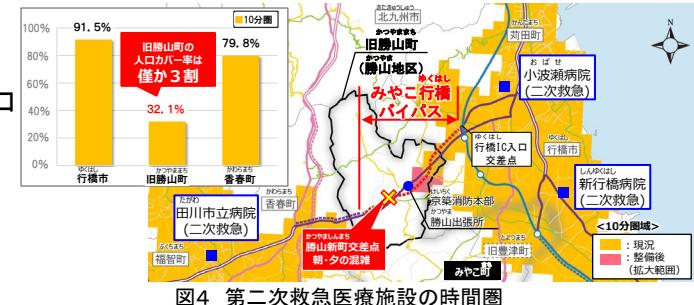
事業の影響

評価項目	評価	内容
自動車や歩行者への影響	渋滞対策 (政策目標①)	<p>交通転換による交通渋滞の緩和</p> <p>【課題】 ・国道201号で事業中区間を除いて、唯一の2車線区間である当該区間の現道に約2万台/日を上回る交通が集中。 ・主要渋滞箇所をはじめ、朝・夕ピーク時に渋滞が発生。(写真1、図3)</p> <p>【効果】 ・みやこ行橋バイパスへの交通転換により、現道の交通混雑が緩和 ○対象区間の平均旅行速度【現況】34km/h → 【整備後】60km/h 資料:【現況】R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度、【整備後】みやこ行橋バイパス区間を60km/hで算出 ○国道201号現道の混雑度【現況】1.37 → 【整備後】0.59 資料:【現況】R3全国道路・街路交通情勢調査、【整備後】将来交通量推計結果(R22)より算出</p>
	事故対策 (政策目標②)	<p>・交通混雑等の緩和により、交通事故が減少 ○国道201号現道の死傷事故件数【現況】30件/年 → 【整備後】8件/年(約7割減少)</p>
	歩行空間	<p>・歩道・自転車道整備により、安全性の高い交通環境を形成</p>
社会全体への影響	住民生活 (政策目標④)	<p>速達性の向上による救急医療活動の支援</p> <p>【課題】 ・みやこ町勝山地区の第二次救急医療施設10分圏人口カバー率は3割と、周辺市町に比べ低い水準。(図4)</p> <p>【効果】 ○みやこ町勝山地区の10分圏人口カバー率 【現況】32% → 【整備後】43% (11%増加) 資料:【現況】R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度、【整備後】みやこ行橋バイパス区間を60km/hで算出</p>
	地域経済 (政策目標③)	<p>物流活動における速達性・定時性の確保</p> <p>【課題】 ・対象区間は2車線であるため、交通が集中するピーク時には所要時間に差が生じるなど、定時性が確保出来ておらず、物流活動に支障。(図7)</p> <p>【効果】 ○香春町セメント工場～苅田港の所要時間 【現況】43分 → 【整備後】36分 (約7分短縮) 資料:【現況】R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度、【整備後】みやこ行橋バイパス区間を60km/hで算出</p>
災害	◎	<p>・国道201号現道が浸水途絶した場合にも緊急輸送道路として機能 ○国道201号現道の浸水区域の通過延長【整備前】1.7km → 【整備後】0km</p>
環境	○	<p>・環境(CO2排出量)の改善 [CO2排出削減便益: 0.53億円]</p>
地域社会	○	<p>・大型車等の通過交通の転換により地域の交通環境の改善や輸送効率が向上 ・観光資源および中核都市である行橋市など近隣市町村へのアクセス性が向上 (参考:貨幣換算)・アクセス性向上による観光産業活性化効果: 約7億円</p>



資料: [速度]ETC2.0データ(R5.10平日)

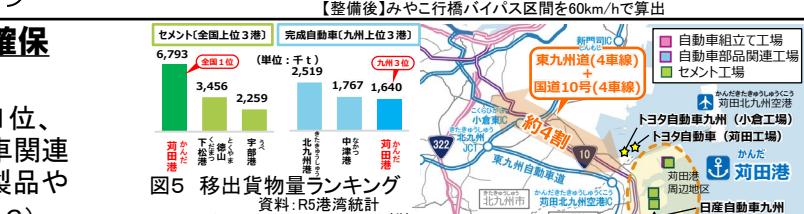
[交通量]R3全国道路・街路交通情勢調査



資料: 時間圏R3全国道路・街路交通情勢調査、人口:R2国勢調査

[現況]R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度

[整備後]みやこ行橋バイパス区間を60km/hで算出



資料: R5港湾統計



資料: ETC2.0データ(R5.10平日、大型車)

